

## 1. Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Start Bit	1
Stop Bit	1
Data Bit	8
Parity	Even
Data Rate	1200,2400,4800,9600 bit per second 可変
Code	ASCII
Terminate	CR LF

## 2. Write command

マルチビューワ (DMV-901) が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。  
「MENU+CR,LF」を返します。

### 2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「E0+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error
「MENU+CR,LF」	Menu 状態
「LOCK+CR,LF」	Lock 状態
「ALARM+CR,LF」	Alarm 状態

### 2-2. Command

#### 2-2-1. アラーム関連

##### 2-2-1-1. 「ADT n n n+CR,LF」 (Alarm Duration Time)

ALARM DURATION TIME の設定をします。

n n n は時間で単位は、秒です。設定範囲は【001】～【999】秒です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

##### 2-2-1-2. 「AEE+CR,LF」 (Alarm Event Erase)

記憶されている Alarm のイベントを消去します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

##### 2-2-1-3. 「AENOF+CR,LF」 (Alarm Event Number Off)

ALARM EVENT NUMBER の設定を【OFF】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

##### 2-2-1-4. 「AENON+CR,LF」 (Alarm Event Number On)

ALARM EVENT NUMBER の設定を【ON】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

##### 2-2-1-5. 「ARB+CR,LF」 (Alarm Return Before.)

ALARM RETURN の設定を【BEFORE】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

- 2-2-1-6. 「ARF+CR,LF」 (Alarm Return Fix)  
ALARM RETURN の設定を【FIX】にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-1-7. 「SAICB+CR,LF」 (Sensor Alarm Input Contact Break)  
SENSOR ALARM INPUT CONTACT の設定を【BREAK】にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-1-8. 「SAICM+CR,LF」 (Sensor Alarm Input Contact Make)  
SENSOR ALARM INPUT CONTACT の設定を【MAKE】にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-1-9. 「SAME+CR,LF」 (Sensor Alarm Mode External)  
SENSOR ALARM MODE の設定を【EXT.】にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-1-10. 「SAMI+CR,LF」 (Sensor Alarm Mode Internal)  
SENSOR ALARM MODE の設定を【INT.】にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-1-11. 「SABOOF+CR,LF」 (Sensor Alarm Buzzer Out Off)  
SENSOR ALARM の BUZZER OUT の設定を【OFF】にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-1-12. 「SABOON+CR,LF」 (Sensor Alarm Buzzer Out On)  
SENSOR ALARM の BUZZER OUT の設定を【ON】にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-1-13. 「SASOOF+CR,LF」 (Sensor Alarm Signal Out Off)  
SENSOR ALARM の SIGNAL OUT の設定を【OFF】にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-1-14. 「SASOON+CR,LF」 (Sensor Alarm Signal Out On)  
SENSOR ALARM の SIGNAL OUT の設定を【ON】にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-2. ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定
- 2-2-2-1. 「BLB+CR,LF」 (Border Line Black)  
BORDER LINE の設定を【BLACK】にします。
- 2-2-2-2. 「BLW+CR,LF」 (Border Line White)  
BORDER LINE の設定を【WHITE】にします。
- 2-2-3. カメラチャンネル選択
- 2-2-3-1. 「C01+CR,LF」～「C09+CR,LF」 (Camera channel 1～9)  
カメラのチャンネル No.1～9 を選択します。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。  
但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。  
Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-3-2. 「CM4 A+CR,LF」～「CM4 B+CR,LF」 (Camera 4 分割 A/B)

カメラの4分割画面 A/B を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-3-3. 「CM9 A+CR,LF」 (Camera 9 分割 A)

カメラの9分割画面 A を選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-3-4. 「CAS F+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Full)

単画面オートシーケンスのカメラ切換えを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-3-5. 「CAS M+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Multi)

分割画面オートシーケンスのカメラ切換えを選択します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと Alarm 状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「GN+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock 状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

## 2-2-4. 自動切換え時間設定

### 2-2-4-1. 「CAST n n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time)

AUTO SEQ. TIME の設定をします。

n n n は時間で単位は、秒です。設定範囲は【001】～【999】秒です。

## 2-2-5. コネクタ入力設定

### 2-2-5-1. 「CCA+CR,LF」 (Connector Connect Alarm)

REMOTE IN の設定を【ALARM】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-5-2. 「CCR+CR,LF」 (Connector Connect Remote)

REMOTE IN の設定を【REMOTE】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

## 2-2-6. タイトル関連

### 2-2-6-1. 「CA01\*\*\*\*\*+CR,LF」～「CA09\*\*\*\*\*+CR,LF」

(Character title channel 1～9)

各チャンネルのタイトルキャラクタを設定します。

タイトルの文字長さは8文字なので8文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

\*印はキャラクタで別紙の ASCII Code 表を参照してください。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-6-2. 「CTFON+CR,LF」 (Character Title Full On)

TITLE MONITOR FULL の設定を【ON】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-6-3. 「CTFOF+CR,LF」 (Character Title Full Off)

TITLE MONITOR FULL の設定を【OFF】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-6-4. 「CTMON+CR,LF」 (Character Title Multi On)

TITLE MONITOR MULTI の設定を【ON】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-6-5. 「CTMOF+CR,LF」 (Character Title Multi Off)

TITLE MONITOR MULTI の設定を【OFF】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-6-6. 「CX01nn+CR,LF」～「CX09nn+CR,LF」 (Character title position X座標)

各チャンネルの TITLE POSITION のX座標 (横) を設定します。

nnは座標値で範囲は、【01】～【17】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-6-7. 「CY01nn+CR,LF」～「CY09nn+CR,LF」 (Character title position Y座標)

各チャンネルの TITLE POSITION のY座標 (縦) を設定します。

nnは座標値で範囲は、【01】～【12】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-6-8. 「TOF+CR,LF」 (Title Off)

タイトルを表示しません。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-6-9. 「TON+CR,LF」 (Title On)

タイトルを表示します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

## 2-2-7. 日付,時刻設定

### 2-2-7-1. 「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【01】～【31】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-7-2. 「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【01】～【12】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-7-3. 「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【99】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-7-4. 「TSA+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-7-5. 「TSHnn+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【23】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-7-6. 「TSMnn+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-7-7. 「TSSnn+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-8. 日付,時刻表示設定

#### 2-2-8-1. 「TSDD+CR,LF」 (Time Signal Display D/M/Y)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を【D/M/Y】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-8-2. 「TSDM+CR,LF」 (Time Signal Display M-D-Y)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を【M-D-Y】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-8-3. 「TSDY+CR,LF」 (Time Signal Display Y.M.D)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を【Y. M. D】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-8-4. 「TSFON+CR,LF」 (Time Signal monitor Full On)

TIME SIGNAL MONITOR FULL の設定を【ON】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-8-5. 「TSFOF+CR,LF」 (Time Signal monitor Full Off)

TIME SIGNAL MONITOR FULL の設定を【OFF】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-8-6. 「TSMON+CR,LF」 (Time Signal monitor Multi On)

TIME SIGNAL MONITOR MULTI の設定を【ON】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-8-7. 「TSMOF+CR,LF」 (Time Signal monitor Multi Off)

TIME SIGNAL MONITOR MULTI の設定を【OFF】にします。

### 2-2-9. 分割画面配置の設定

#### 2-2-9-1. 「D4Annnn+CR,LF」～「D4Bnnnn+CR,LF」 (Division 4A/B channel set)

4 分割画面 A/B の表示チャンネルを設定します。

nは設定チャンネル番号で同じチャンネルを2つ以上設定できません。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-9-2. 「D9 A n n n n n n n n n n+CR,LF」 (Division 9A channel set)

9分割画面 A の表示チャンネルを設定します。

n は設定チャンネル番号で同じチャンネルを 2 つ以上設定できません。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-10. ロックボタンの設定

#### 2-2-10-1. 「LOF+CR,LF」 (Lock Off)

フロントスイッチのロック状態を解除します。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-10-2. 「LON+CR,LF」 (Lock On)

フロントスイッチにロックをかけ操作を不可能にします。

また、RS-232C コマンド、リモートによるチャンネル切換えも受け付けません。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 2-2-11. ライブチャンネルの設定

#### 2-2-11-1. 「LM0 2 L+CR,LF」～「LM0 9 L+CR,LF」 (Live channel Monitor ch.1～9 Live)

LIVE CHANNEL MONITOR の各チャンネルの設定を【L I V E】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-11-2. 「LM0 1 S+CR,LF」～「LM0 9 S+CR,LF」 (Live channel Monitor ch.1～9 Skip)

LIVE CHANNEL MONITOR の各チャンネルの設定を【S K I P】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-11-3. 「LSM4 AL+CR,LF」～「LSM9 AL+CR,LF」 (Live ch. Sequence Multi.4A～9A Live)

LIVE CHANNEL SEQUENCE MULTI の各分割画面の設定を【L I V E】にします。

#### 2-2-11-4. 「LSM4 AS+CR,LF」～「LSM9 AS+CR,LF」 (Live ch. Sequence Multi.4A～9A Skip)

LIVE CHANNEL SEQUENCE MULTI の各分割画面の設定を【S K I P】にします。

### 2-2-12. モーション アラームの設定

#### 2-2-12-1. 「MABOOF+CR,LF」 (Motion detect Alarm Buzzer Out Off)

MOTION DETECT ALARM の BUZZER OUT の設定を【O F F】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-12-2. 「MABOON+CR,LF」 (Motion detect Alarm Buzzer Out On)

MOTION DETECT ALARM の BUZZER OUT の設定を【O N】にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-12-3. 「MAP0 1 mX n n+CR,LF」～「MAP0 9 mX n n+CR,LF」

(Motion detect Alarm channel 1～9 position X)

MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの POSITION X を設定します。

m はセンサで 1～4 です。nn は X 座標の位置で 01～12 です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-12-4. 「MAP0 1 mY n n+CR,LF」～「MAP0 9 mY n n+CR,LF」

(Motion detect Alarm channel 1～9 position Y)

MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの POSITION Y を設定します。

m はセンサで 1～4 です。nn は X 座標の位置で 02～12 です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

- 2-2-12-5. 「MAS01EH+CR,LF」～「MAS09EH+CR,LF」  
(Motion detect Alarm Sensitive channel 1～9 Extra High)  
MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの SENSITIVE 設定を **【E. HIGH】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-12-6. 「MAS01H+CR,LF」～「MAS09H+CR,LF」  
(Motion detect Alarm Sensitive channel 1～9 High)  
MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの SENSITIVE 設定を **【HIGH】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-12-7. 「MAS01M+CR,LF」～「MAS09M+CR,LF」  
(Motion detect Alarm Sensitive channel 1～9 Middle)  
MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの SENSITIVE 設定を **【MIDDLE】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-12-8. 「MAS01EL+CR,LF」～「MAS09EL+CR,LF」  
(Motion detect Alarm Sensitive channel 1～9 Extra Low)  
MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの SENSITIVE 設定を **【E. LOW】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-12-9. 「MAS01L+CR,LF」～「MAS09L+CR,LF」  
(Motion detect Alarm Sensitive channel 1～9 Low)  
MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの SENSITIVE 設定を **【LOW】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-12-10. 「MAS01O+CR,LF」～「MAS09O+CR,LF」  
(Motion detect Alarm Sensitive channel 1～9 Off)  
MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの SENSITIVE 設定を **【OFF】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-12-11. 「MASOOF+CR,LF」 (Motion detect Alarm Signal Out Off)  
MOTION DETECT ALARM の SIGNAL OUT の設定を **【OFF】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-12-12. 「MASOON+CR,LF」 (Motion detect Alarm Signal Out On)  
MOTION DETECT ALARM の SIGNAL OUT の設定を **【ON】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-13. パスワードの設定
- 2-2-13-1. 「PW00F+CR,LF」 (Password Operation Off)  
PASSWORD OPERATION の設定を **【OFF】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-13-2. 「PW00N+CR,LF」 (Password Operation On)  
PASSWORD OPERATION の設定を **【ON】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。
- 2-2-13-3. 「PWMOF+CR,LF」 (Password Menu Off)  
PASSWORD MENU の設定を **【OFF】** にします。  
Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-13-4. 「PWMON+CR,LF」 (Password Menu On)

PASSWORD MENU の設定を **【ON】** にします。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

#### 2-2-13-5. 「PWNnnnnnn+CR,LF」 (Password Number nnnnnn)

PASSWORD NUMBER の設定を **【nnnnnn】** にします。

範囲は **【111111】** ～ **【999999】** です。

Alarm 状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

### 3.Read command

#### 3-1.異常時 Answer

「E 0+CR,LF」	Framing error
「E 1+CR,LF」	Parity error
「E 2+CR,LF」	Overrun error
「E 3+CR,LF」	Command Error

#### 3-2.Command

##### 3-2-1.アラーム関連

#### 3-2-1-1. 「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

ALARM DURATION TIME の設定値を返します。単位は秒です。

「ADT 0 0 1+CR,LF」 ～ 「ADT 9 9 9+CR,LF」      **【001】** ～ **【999】**

#### 3-2-1-2. 「RAEC+CR,LF」 (Read Alarm Event Count)

ALARM EVENT の件数を返します。

「AEC 0 0 0+CR,LF」 ～ 「AEC 1 0 0+CR,LF」

#### 3-2-1-3. 「RAEN+CR,LF」 (Read Alarm Event Number)

ALARM EVENT NUMBER の設定を返します。

「AENOF+CR,LF」      **【OFF】**  
「AENON+CR,LF」      **【ON】**

#### 3-2-1-4. 「RAR+CR,LF」 (Read Alarm Return)

ALARM RETURN の設定を返します。

「ARF+CR,LF」      **【FIX】**  
「ARB+CR,LF」      **【BEFORE】**

#### 3-2-1-5. 「RSABO+CR,LF」 (Read Sensor Alarm Buzzer Out)

SENSOR ALARM の BUZZER OUT の設定を返します。

「SABOON+CR,LF」      **【ON】**  
「SABOOF+CR,LF」      **【OFF】**

#### 3-2-1-6. 「RSASO+CR,LF」 (Read Sensor Alarm Signal Out)

SENSOR ALARM の SIGNAL OUT の設定を返します。

「SASOON+CR,LF」      **【ON】**  
「SASOOF+CR,LF」      **【OFF】**

### 3-2-1-7. 「R S A I C+CR,LF」 (Read Sensor Alarm Input Contact)

SENSOR ALARM INPUT CONECT の設定を返します。

「S A I C M+CR,LF」           **【MAKE】**  
「S A I C B+CR,LF」           **【BREAK】**

### 3-2-1-8. 「R S A M+CR,LF」 (Read Sensor Alarm Mode)

SENSOR ALARM MODE の設定を返します。

「S A M E+CR,LF」           **【EXT.】**  
「S A M I+CR,LF」           **【INT.】**

## 3-2-2. ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

### 3-2-2-1. 「R B L+CR,LF」 (Read Border Line)

BORDER LINE の設定を返します。

「B L B+CR,LF」           **【BLACK】**  
「B L W+CR,LF」           **【WHITE】**

## 3-2-3. 現在のモード

### 3-2-3-1. 「R M+CR,LF」 (Read Mode)

DMV-901 の現在の状態を返します。

「C A S F+CR,LF」	単画面オートシケンスで動作中
「C A S M+CR,LF」	分割画面オートシケンスで動作中
「C 0 1+CR,LF」 ~ 「C 0 9+CR,LF」	カメラ ch.
「C M 4 A+CR,LF」	カメラ 4分割 A
「C M 4 B+CR,LF」	カメラ 4分割 B
「C M 9 A+CR,LF」	カメラ 9分割 A
「A 0 1+CR,LF」 ~ 「A 0 9+CR,LF」	Alarm 保持中 ch.
「M E N U+CR,LF」	Menu 表示中

## 3-2-4. 自動切換え時間

### 3-2-4-1. 「R C A S T+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time)

AUTO SEQ. TIME の設定値を返します。単位は秒です。

「C A S T 0 0 1+CR,LF」 ~ 「C A S T 9 9 9+CR,LF」   **【001】 ~ 【999】**

## 3-2-5. コネクタ入力

### 3-2-5-1. 「R C C+CR,LF」 (Read Connector Connect)

REMOTE IN の設定を返します。

「C C A+CR,LF」           **【ALARM】**  
「C C R+CR,LF」           **【REMOTE】**

## 3-2-6. タイトル関連

### 3-2-6-1. 「R C A 0 1+CR,LF」 ~ 「R C A 0 9+CR,LF」 (Read Character title channel 1~9)

各チャンネルのキャラクタタイトル設定を返します。

「C A n n \* \* \* \* \*+CR,LF」

### 3-2-6-2. 「R C T F+CR,LF」 (Read Character Title monitor Full)

TITLE MONITOR FULL の設定を返します。

「C T F O N+CR,LF」       **【ON】**  
「C T F O F+CR,LF」       **【OFF】**

3-2-6-3. 「RC TM+CR,LF」 (Read Character Title monitor Multi)

TITLE MONITOR MULTI の設定を返します。

「CTMON+CR,LF」           【ON】  
「CTMOF+CR,LF」           【OFF】

3-2-6-4. 「RC X 0 1+CR,LF」 ~ 「RC X 0 9+CR,LF」

(Read Character title position X座標 channel 1~9)

各チャンネルの TITLE POSITION のX座標 (横) 設定値を返します。

「CX 0 1 0 1+CR,LF」 ~ 「CX 0 9 1 7+CR,LF」           【01】 ~ 【17】

3-2-6-5. 「RC Y 0 1+CR,LF」 ~ 「RC Y 0 9+CR,LF」

(Read Character title position Y座標 channel 1~9)

各チャンネルの TITLE POSITION のY座標 (縦) 設定値を返します。

「CY 0 1 0 1+CR,LF」 ~ 「CY 0 9 1 2+CR,LF」           【01】 ~ 【12】

3-2-6-6. 「RT+CR,LF」 (Read Title)

タイトル表示の状態を返します。

「TOF+CR,LF」   タイトル非表示状態  
「TON+CR,LF」   タイトル表示状態

3-2-7. 日付,時刻

3-2-7-1. 「RTD+CR,LF」 (Read Time & Date)

マルチプレクサ (MCS-1616) の日付&時刻を返します。

「yy. mm. dd hh:MM:ss+CR,LF」  
yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-8. 日付,時刻の表示

3-2-8-1. 「RTSD+CR,LF」 (Read Time Signal Display)

TIME SIGNAL DISPLAY の設定を返します。

「TSDD+CR,LF」           【D/M/Y】  
「TSDM+CR,LF」           【M-D-Y】  
「TSDY+CR,LF」           【Y. M. D】

3-2-8-2. 「RTSF+CR,LF」 (Read Time Signal monitor Full)

TIME SIGNAL MONITOR FULL の設定を返します。

「TSFON+CR,LF」           【ON】  
「TSFOF+CR,LF」           【OFF】

3-2-8-3. 「RTSM+CR,LF」 (Read Time Signal monitor Multi)

TIME SIGNAL MONITOR MULTI の設定を返します。

「TSMON+CR,LF」           【ON】  
「TSMOF+CR,LF」           【OFF】

3-2-9. 分割画面配置

3-2-9-1. 「RD 4 A+CR,LF」 (Read Division 4A No.01~04 channel)

4分割Aの表示チャンネル設定を返します。

「D 4 A n n n n+CR,LF」

3-2-9-2. 「RD 4 B+CR,LF」 (Read Division 4B No.01~04 channel)

4 分割 B の表示チャンネル設定を返します。

「D 4 B n n n n+CR,LF」

3-2-9-3. 「RD 9 A+CR,LF」 (Read Division 9A No.01~09 channel)

9 分割 A の表示チャンネル設定を返します。

「D 9 A n n n n n n n n+CR,LF」

3-2-10. ロックボタン

3-2-10-1. 「RL+CR,LF」 (Read Lock)

Lock の状態を返します。

「LON+CR,LF」 Lock On

「LOF+CR,LF」 Lock Off

3-2-11. ライブチャンネル

3-2-11-1. 「RLM0 1+CR,LF」 ~ 「RLM0 9+CR,LF」

(Read Live channel Monitor ch.1~9)

LIVE CHANNEL MONITOR の各チャンネルの設定を返します。

「LMn n S+CR,LF」 **【SKIP】**

「LMn n L+CR,LF」 **【LIVE】**

3-2-11-2. 「RLSM4 A+CR,LF」 ~ 「RLSM9 A+CR,LF」

(Read Live channel Sequence Multi.4A~9A)

LIVE CHANNEL SEQUENCE MULTI の設定を返します。

「LSM4 A S+CR,LF」 **【SKIP】**

「LSM9 A L+CR,LF」 **【LIVE】**

3-2-12. モーション アラーム

3-2-12-1. 「RMABO+CR,LF」 (Read Motion detect Alarm Buzzer Out)

MOTION DETECT ALARM の BUZZER OUT の設定を返します。

「MABOON+CR,LF」 **【ON】**

「MABOOF+CR,LF」 **【OFF】**

3-2-12-2. 「RMAP 0 1 mX+CR,LF」 ~ 「RMAP 0 9 mX+CR,LF」

(Read Motion detect Alarm Position channel 1~9 No.1~4 X 座標)

MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの POSITION n の X 座標設定を返します。

「MAP 0 1 mX n n+CR,LF」 ~ 「MAP 0 9 mX n n+CR,LF」

m=1~4      n n=0 1~1 2

3-2-12-3. 「RMAP 0 1 mY+CR,LF」 ~ 「RMAP 0 9 mY+CR,LF」

(Read Motion detect Alarm Position channel 1~9 No.1~4 Y 座標)

MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの POSITION n の Y 座標設定を返します。

「MAP 0 1 mY n n+CR,LF」 ~ 「MAP 0 9 mY n n+CR,LF」

m=1~4      n n=0 2~1 2

#### 3-2-12-4. 「R M A S 0 1 + C R , L F」 ～ 「R M A S 0 9 + C R , L F」

(Read Motion detect Alarm Sensitive channel 1～9)

MOTION DETECT ALARM の各チャンネルの SENSITIVE 設定を返します。

「M A S 0 1 E H + C R , L F」 ～ 「M A S 0 9 O + C R , L F」

【O F F】

【E. L O W】

【L O W】

【M I D D L E】

【H I G H】

【E. H I G H】

#### 3-2-12-5. 「R M A S O + C R , L F」 (Read Motion detect Alarm Signal Out)

MOTION DETECT ALARM の SIGNAL OUT の設定を返します。

「M A S O O N + C R , L F」 【O N】

「M A S O O F + C R , L F」 【O F F】

#### 3-2-13. パスワード

##### 3-2-13-1. 「R P W M + C R , L F」 (Read Password Menu)

PASSWORD MENU の設定を返します。

「P W M O N + C R , L F」 【O N】

「P W M O F + C R , L F」 【O F F】

##### 3-2-13-2. 「R P W O + C R , L F」 (Read Password Operation)

PASSWORD OPERATION の設定を返します。

「P W O O N + C R , L F」 【O N】

「P W O O F + C R , L F」 【O F F】

##### 3-2-13-3. 「R P W N + C R , L F」 (Read Password Number)

PASSWORD NUMBER の設定を返します。

「P W N n n n n n n + C R , L F」 【1 1 1 1 1 1】 ～ 【9 9 9 9 9 9】

#### 4. ご注意

Command の発行と同時に DMV-901 のフロントスイッチを操作されますと誤った Answer を返すことがあります。

Command の発行を連続で行う場合 100mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

Title キャラクタ設定 (C A Command) の発行を連続で行う場合 500mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

#### 5. 変更履歴

2011.05.19 コマンド表記を分類して分ける。

2017.11.13 ASCII Code 表 ‘-’ 02BH を 02DH に修正

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02DH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ヤ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ユ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ヨ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	オ	0ABH
Y	059H			ゝ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH